「常総ふれあいの杜」広報誌No.33　2016年秋号（季刊）

社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

ふれあい通信

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel0297−27−5016
Fax0297−27−5045
www.kings-garden.or.jp
発行責任者藤原裕也
編集員広報委員会

思い出作り

理事長代理　宇都宮和子

楽しかったバザーも終わり、ホッとする間もなく、クリスマスを迎える時期になりました。

ふれあいの杜も十回目のクリスマスです。当初はご利用者も職員も慣れるまでは大変でしたが、今はご利用者さんもすっかり慣れて、生活されていることは大きな喜びです。

その背後にはご家族のご理解とご協力があり、また行政の方々のご支援のおかげと思い感謝しております。

時には大きなハプニングもありますが、職員の連携で乗り越えています。楽しそうにトランポリンを跳ねている人、ナイスショットバスケットゲームを楽しんでいる人、玄関で施設長のギターに合わせ、歌を楽しんでいる人等、一人一人の個性があふれているふれあいの杜の皆さんです。

クリスマス、お正月と、これからもご利用者と一緒に楽しい思い出を沢山作って行きたいと思います。

Merry Christmas

スナップフォト

キングス・ガーデン・バザー

十一月二十三日、バザーが開催され、たくさんの交流がありました。

ソーラン節では、ひこうせんとふれあいの杜のご利用者が一緒になって踊る姿がありました。常総市とつくば市からそれぞれ中学生が来てくださいましたが、一緒に力を合わせて、ボランティアとしてバザーを支えてくれ、またステージやゲームを盛り上げてくれました。施設を退職された方もボランティアやゲストとして来られ、ご利用者や職員との再会を懐かしんでいました。施設ご利用者の皆様やご家族、地域の方々、ボランティアの方々、退職された職員、現職員、幼い子供から高齢の方まで、多様な人達の交流の場面がありました。肌寒い日でしたが、懐かしい人達との再会や会話に心が温まり、そして屋台の豚汁で体が温まりました。

（土田誠一）

※ボランティアに感謝します。　バザー／水海道西中学校の皆様、つくば市立桜中学校の皆様、中山松枝様、西山実様、荒井静子様、後藤家の皆様、藤原家の皆様

けやき一泊旅行

初めてのお泊り外出に行ってきました。デュエットリゾート那須でお泊り。サファリパークや、トリックアートに行きましたが、一番楽しんだのは、やっぱり食事でした。サファリ弁当に夜のBBQ、朝は手作りシチューに大量のサラダ。きれいに無くなりました。夜に眠れなかったのはご利用者、職員ともに約一名づつ。でも翌日はとても元気で、思ったより皆落ち着いていました。疲れたけど、楽しかった旅行。また、行こうね！（磯部隆博）

ようこそ、ファンタジーの世界へ

暗い通路を歩き、大きな扉を開けると、そこは夢の世界。昨年大ヒットしたディズニー映画「アナと雪の女王」が、氷の上のミュージカルとして再現されました。どんなときにも負けない愛と友情が描かれ、表情で披露される息をのむスケーティングや、心に響く歌、記憶に残る演技に誰もが感動の嵐……。帰りのバスの中、お土産を手に「良かったね」「また観たいな」とファンタジーの世界は続きます。愛があふれる王国にもどったアナとエルザ。次は、愛があふれる『ふれあいの王国』をみんなで築いて行きましょう。（生井弘美）

もくせい、まつのディズニーシー

毎年恒例のディズニー・ツアー。今年はもくせいとまつのメンバーで、ディズニーシーを満喫しました！マジックランプシアターで見事な３Ｄのマジックに驚き、トイストーリーマニアではシューティングに熱中。そして、水上での華麗な歌とダンスのショーに見とれてしまいました。

お昼は、てんぷらやカツなどおいしい和食を頂きました。

あっという間に帰る時間。さすが夢の国、何度行っても楽しいね。（渡邊俊介）

トリック or トリート ♪

今年のハロウィンは……謎解き＆宝探しでお菓子をゲット！多目的ホールに皆集まり、まずは謎解きタイム。支援員が悩む姿や、解けたと手を挙げた時のご利用者の表情がとても印象的でした。

問題を解いた後は宝探し♪

ちょっと簡単だったのか、最後の場所は大渋滞でしたね。（後ノ上友里）

どきどきファーム外出

自然耕房班で、牛久の「ポケットファームどきどき」に出かけました。レストランでは地元で採れた新鮮な食材が使われ、おいしい料理が食べられます。ご利用者は大喜び！でも野菜より肉やスイーツが良かったみたい。皆お腹いっぱい食べました。活動を頑張ったら、また行きたいですね。（松浦恭佑）

わんちゃんとのふれあい

今年も、専門学校の学生さんたちが沢山のわんちゃんたちを連れて来て下さいました。

ご利用者も職員も楽しみにしている行事の一つになりつつある中、今年はバリエーション豊富で大きい犬から小さい犬まで沢山いました。

目をキラキラ輝かせ、ふれあいタイムでは写真を撮ったり、沢山触ったりと思い思いの楽しいひと時を過ごすことが出来ました。（石塚理沙）

やさしい一言

「山崎さん、おはよう」と、毎朝言いに来てくれるご利用者がいます。私が体調不良の時に「山崎さん、元気がないね。大丈夫？」と、言われました▼その時のご利用者からの言葉。見抜かれてしまった反省と同時に、その一言で何だか暖かな気持ちを感じました▼毎日、ご利用者と関わっている中で職員が何気なく使っている言葉を、どのように感じているのか……改めて考えさせられた朝でした▼「優しい言葉をかけてほしい」マザーテレサの言葉にもあるように、これからも優しい言葉かけで関わっていけたらと、思いました▼K様、有難う。（山崎真奈美）

※ボランティアに感謝します。　喫茶／須田晶子様、高橋和子様、中山小夜子様、安田春江様　音楽／山田国昭様